

四旬節第3週 主日礼拝

2017年3月19日

第一礼拝(8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ルカの福音書』19章41-44節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌8「七日の旅路」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌330「 ^{さいわ} く ^{うす} 見ゆる日に」	—	同
聖書朗読	『ヨハネの福音書』12章12-19節(新約204頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「いま救ってください」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌427「ただ主を」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	渡邊 智子姉	
諸案内	(来信、集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介、報告および暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌61「 ^{みめぐ} 御恵みあふるる」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会・説教：近伸之牧師	音響：片山 勝三兄	献金：沼田佐代子姉
司集	会：片山 健司兄 会：横堀 信子姉	音響・録音：山崎 敬典兄 映像・録画：近伸之牧師	C S 担当：片山 初子姉 カナン担当：佐藤 鈴子姉 掃除：長谷川睦子姉

説教メモ

- 1) イエスは預言を成就するために「ろばの子」に乗られた。それは「弱さ」を通しての救いも象徴している。
- 2) 人々は「ホサナ(いま救ってください)」と叫んだ。しかし彼らの「救い」とはローマ帝国からの解放だった。
- 3) 「救い」を理解しない人々のために、主は涙を流された。その涙は、十字架上で祈りまで繋がっている。

先週の暗唱聖句

「この女は、自分にできることをしたのです。
埋葬の用意にと、わたしのからだに、前もって油を塗ってくれたのです」(『マルコの福音書』14章8節)

今週の暗唱聖句

「ホサナ。祝福あれ。主の御名によって来られる方に。イスラエルの王に」(『ヨハネの福音書』12章13節)

個人、団体からの来信

2017年3月19日

新潟聖書学院より、2017年度入学式のご案内[4月4日(火)午前10時30分より] /
TCUより領収書 / 亀田キリスト教会より領収証 / PBA ART CALENDAR差し替え版 /
「アンテオケ宣教会NEWS」第217号 / 「OM日本ニュース」第77号

先週の集会出席者数

3/12(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児- 成人男性- 幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児3 成人女性2		
	第一礼拝	男3 女3 女児1	※月に一回、実用書道教室を開催	
	(子ども)	男9 女19 計28	3/13(月)	月曜家庭集会 男3 女4
	夕 拝	男児1 女児4	3/15(水)	分かち合い祈禱会 男2 女3
		(休会)	3/17(金)	しゃべり場タビタ 女4 女児1 男児1
			3/17(金)	金曜祈禱会 男- 女6

諸集会のご案内

		※月に一回、実用書道教室を開催。	
3/20(月・祝)	月曜家庭集会	(休会)	
3/22(水)午後7:30	新潟山形僚禱会	教会堂	司会：笹川 清子姉
3/24(金)午後1:30	しゃべり場タビタ	小山 千春姉宅	問合せ先：小山 千春姉
3/24(金)夜	金曜祈禱会	教会堂	

3/26(日) 四旬節第4週

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教：近伸之牧師	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：近伸之牧師		
歓迎礼拝 午前10:30	司会：山崎 敬典兄 集会：小山 千春姉 映像：近伸之牧師	音響・賛美：賛美チーム 説教の録音：片山 勝三兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：伊東 一馬兄 掃除：横堀 信子姉

礼拝について	聖書：『ヨハネの福音書』18章1-13節
午後の予定	
	※諸般の事情により、夕拝は休会とします。

報 告

1. 本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝します。この後は昼食をいただき、午後2:00よりカナン訪問をいたします。
2. 宣教区の予定
3月21日(火)午前11:30より新潟福音教会において2017年送別会がもたれます。また、同日午後7時より同教会において宣教区役員会がもたれます。話し合いや、それぞれの新たな歩みが守られますように。
3. PBA ART CALENDARについて
昨年末にPBAのカレンダーをお配りしましたが、今春よりBSNテレビの放送時間が変わることになり、差し替え版が届きました。お手数ですが、再度各家庭へお持ち帰りください。

昔は教科書にもあったというのですが、「一勺の水を海へ投げ海水が増えたというも愚なり、増えぬというも愚なり」という言葉があったそうです。つまり一勺というのは、180ミリリットルの十分の一ですから、たった18ミリリットル、おちょ一杯の水を海に入れて増えたと言うのも愚かだし、増えないと言うのも愚かだということになるのでしょうか。それこそ水掛け論になりそうです。しかし、この言葉は、私たちにものの考え方を示唆してくれるように思えます。

ブラジルから20人近くのお客さんをお迎えしたことがありました。日本は初めてという方もいれば、何十年ぶりという方もいました。その人が、日本円のバラ銭を手に握り、「こんな小銭はどうせ使いものにならないから捨てましょうか」と言うのです。それにはわけがあります。極度のインフレの当時のブラジルでは、バラ銭はまったく使い道がなく役に立たないのだそうです。それで、日本も同じだと勘違いしたのです。そこで今流の「一銭を笑うものは一銭に泣く」を話して聞かせたわけです。

さて、いまここに十円玉があるとします。この十円玉を見て「十円は一円の十倍もある」と見る人もいれば、「百円の十分の一しかない」と見る人もいます。コップに水が半分入っている。そのコップを見て「コップに水が半分しか入っていない」と見る人もいれば、「半分も入っている」と見

る人もいます。

ものは、いつも両面から、あるいは四方八方からの見方があるかもしれません。そして、それぞれの見方は間違っていない。しかし、消極的に見る見方や否定的に見る見方からは、あまり生産的なものは生まれてきません。

ひと粒の雨は、洪水を引き起こして、土砂とともに人家を流すこともできるし、山野や田畑を潤すこともできるし、水源にもなります。ところでお互いの存在はどうでしょうか。

数千人の人々がキリストのもとに集まってきた時、キリストは弟子たちに「彼等のために食事を用意してあげなさい」と言われたことがありました。弟子たちは「できない相談です」と答えました。ひとりの少年が、五つのパンと二匹の小魚のお弁当をキリストに差し出したのですが、「このようなものが何になるでしょうか」と。

キリストはそれを受け取り、感謝のお祈りをしながら、そのパンと魚を増やして数千人の人々のおなかを満足させたのです。

神のみ前には「こんなもの」というものは何ひとつありません。もしあなたが、何かそのようなことを思っておられたなら、「十円もある」と感謝してみましよう。そこから、積極的で生産的な一日が始まります。



ロバは別名「ウサギウマ」とも呼ばれ、現生ウマ科の中で一番小型だが、力は強く、記憶力も良い。ウマが好奇心が強く、社会性があり、繊細であるのに対し、ロバは新しい物事を嫌い、頑固であるため、とかく悪い意味で比較される。しかしロバは乾燥地帯や山道などの悪環境にも強く、少食な割には強健であるため、古代から乗用、荷物の運搬などに重用されてきた。寿命も長く、飼育環境によっては30年以上生きることもある。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。

☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



3/25(土)「ハレルやまんじゅう」片岡文子さん

東京都新宿区にある和菓子店「栄光堂」で働く片岡文子さんをご紹介します。片岡さんは幼稚園の教諭として働いた後、20年程前に栄光堂の店主でお菓子職人の義雄さんと結婚、和菓子の世界に飛び込みました。現在は、和菓子職人の妻として、接客や販売、商品開発などに取り組んでいます。人気の「ハレルやまんじゅう」やお店の様子を紹介するとともに、片岡さんにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN。ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

2017年度教会目標

「受けるよりも与えることを」

「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いでである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

